

Bow and Arrow

経済学部学生 土井 雅也 仁



緊張と声援の中、射場に立つ。もう考える事はない。自分の実力のすべてを出しつくすのみだ。わずかに震える手を落ち着けながら深呼吸をする。的を見、ゆっくりと打起こしじりじりと矢を引き絞り狙いをつける。「がんばれ」「しっかりいけ」等々の声援が飛び交う中、周囲を“動”とするなら自己を“静”とし、一種の哲学的調和を形として表現する。気が充満する。時満ちたり。そう思った瞬間、すべては解放された。紙火薬のはじけるような音がして的には穴が穿たれている。周囲の拍手と声が、自分のポテンシャルを完全に引き出せたことを実感させてくれる。そして、その満足感を残しつつ射場を去っていく。

と、今述べたのが弓道の試合風景です。弓道とは何か？と聞かれても完全な答えは誰も出せません。しかし、限りなく完全に近い答えなら誰でも出せるのです。まあ、そんな事ばかり考えている訳ではありませんが、その気持ちを少なからず持った者の集まりが弓道部なのです。そんな訳ですから、今や県内ではNo.1、五大学でも優勝し、中国地区はもちろん、中四国でも一目おかれる存在となっているのです。どーも、弓道部でした。

剣道部のこと

— 全容形画剣 —

理学部学生 若林 篤 光



剣道部は、かつての中四国学生剣道優勝大会五連覇をはじめとして数々の輝かしい成績をのこしています。その活躍は常に中四国をリードしているといえるでしょう。

この夏行われた中四国大会においては、惜しくも優勝こそ逃したものの、全日本学生剣道優勝大会への出場権を手に入れました。その全日本大会では、関東の有力校と対戦し勝敗はともかくとしても、大きなものを得て帰って来ました。

以上のような、大会の成績もさることながら、春の比治山対面式に始まる、たび重なるコンパのことも見逃せません。コンパ会場においては、リベラルないつもの様子そのままに先輩・後輩の枠を越えて練習の疲れをいやしています。

ということでクラブの紹介を終わります。剣道部は今後共、中四国大会の優勝を目指して、一層の努力を続けたいと思います。